

科目シラバス (2021年度)

--

■科目基本情報

科目名	シンセサイズ	科目コード	A220
授業時数/週	3 時間/週	年次・学期	1 年 ・ 通期
必修/選択区分	必修	授業形態	講義
担当教員	中塚祐介		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

■科目詳細情報

授業概要	基礎的なシンセサイズから応用(音響効果的)なシンセサイズを学ぶ											
到達目標	基礎から応用まで、シンセサイザーの使い方を習得し、フォーリーと掛け合わせた効果音が制作できるようになる											
授業方法	ソフトシンセを使用してPCベースで授業を行う(Retrologue2、MASSIVE)											
実践的教育の内容	イメージした効果音を音で表現できるように、基礎から応用までを授業に盛り込む											
成績評価方法	筆記試験 定期試験	0%	筆記試験 小テスト	20%	実技試験	20%	課題評価	60%	平常評価	0%	その他	0%
	課題制作物での評価 / 60パーセント 筆記テストでの評価 / 20パーセント、実技テストでの評価 / 20パーセント											
授業外における学修	課題が宿題となる場合あり											
教科書・教材	なし											
参考文献・資料	特になし											
履修上の留意点	特になし											
授業計画	第1週	シンセサイズとは シンセサイザーの歴史、仕事での重要性										
	第2週	シンセサイジング基礎 1 シンセサイザーの基礎を講義										
	第3週	シンセサイジング基礎 2 シンセサイザーの基礎を講義し実際に触れる										
	第4週	シンセサイジング基礎 3 シンセサイザーの基礎の小テストと理解度の確認										
	第5週	シンセサイジング基礎 4 Nuendo Retrologue2 の使い方 (VCO)										
	第6週	シンセサイジング基礎 5 Nuendo Retrologue2 の使い方 (VCF)										
	第7週	シンセサイジング基礎 6 Nuendo Retrologue2 の使い方 (VCA)										
	第8週	シンセサイジング基礎 7 Nuendo Retrologue2 の使い方 (ADSR)										
	第9週	シンセサイジング基礎 8 Nuendo Retrologue2 の使い方 (LF0)										
	第10週	シンセサイジング基礎 9 Nuendo Retrologue2 の使い方 (Arpeggiator)										
	第11週	シンセサイジング基礎 10 Nuendo Retrologue2 の使い方 (Effect)										
	第12週	サンプラー 1 Nuendo Groove Agent の使い方										
	第13週	サンプラー 2 Nuendo Groove Agent の使い方										
	第14週	効果音 発表会に向けて 前期で習得した技術を使用し「渾身の効果音」を制作する										
	第15週	効果音 発表会 前期で習得した技術を使用し「渾身の効果音」を制作する										
	第16週	シンセサイジング基礎 筆記テストに向けて 前期の復習を行う										
	第17週	シンセサイジング基礎 筆記テスト 前期のまとめの筆記テストを実施										

授業計画	第18週	前期の復習 前期の復習を行う
	第19週	シンセサイジング応用 NI Massive 低音を意識した効果音の制作
	第20週	シンセサイジング応用 NI Massive シンセサイズ+波形EDITでの効果音制作 1
	第21週	シンセサイズ+フォーリー 1 シンセサイズとフォーリーでのハイブリット効果音制作
	第22週	シンセサイジング応用 1 プラグインシンセを使用し攻撃的効果音の制作を行う
	第23週	シンセサイジング応用 2 プラグインシンセを使用し攻撃的効果音の制作を行う
	第24週	シンセサイジング応用 3 プラグインシンセを使用し空間的効果音の制作を行う
	第25週	シンセサイジング応用 4 プラグインシンセを使用し空間的効果音の制作を行う
	第26週	シンセサイジング応用 5 動くソースに対しての効果音制作 1
	第27週	シンセサイジング応用 6 動くソースに対しての効果音制作 2
	第28週	効果音 発表会に向けて 後期で習得した技術を使用し「渾身の効果音」を制作する
	第29週	効果音 発表会に向けて 後期で習得した技術を使用し「渾身の効果音」を制作する
	第30週	効果音 発表会 後期で習得した技術を使用し「渾身の効果音」を発表する
	第31週	シンセサイジング応用 筆記テストに向けて 後期の復習を行う
	第32週	シンセサイジング応用 筆記テスト 後期のまとめの筆記テストを実施
	第33週	シンセサイジング応用 実技テストに向けて 後期の復習を行う
第34週	シンセサイジング応用 実技テスト 後期のまとめの実技テストを実施	